

所蔵資料の紹介

◆馬頭琴 (ばとうきん)

棹の上端に馬の頭が彫ってあるので、“馬頭琴”の名が付けられた。12世紀頃よりモンゴル族に広く伝わり、独奏楽器のほか、民間歌謡や「説唱」音楽の伴奏にも用いられる。共鳴箱は松の木で作られ、形は台形で、両面とも胴は木製。2本のナイロン弦を張った棹は紫檀の木で作られている。フレット無し。(サイズ：幅33×奥行き16×高さ116cm、1980年代製作)



馬頭琴

◆筑紫箏 (つくしごと)

第11代佐賀藩主、鍋島直大侯なほひらの娘・伊都子さんが皇族・梨本宮家に嫁ぐ際、嫁入り道具の一つとして持参したと言われる「金蒔絵唐草杏葉紋」(きんまきえからくさぎょうようもん)入りの豪華な箏。箏の磯(面)と竜尾に鍋島藩の家紋「杏葉紋」が描かれている。弦：絹糸13本を使用<13弦箏>。(サイズ：幅190×奥行き25×厚さ4.5cm、1800年代製作)



筑紫箏

事業報告

平成19年(2007年)は次の事業を遂行した。

1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料(和書・洋書)1743冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)532点、視聴覚資料(CD、DVD等)214点を収集。

2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器の収集と“常設展示”

- 「古典ピアノ室」では、当館所蔵の古典ピアノ(16～20世紀)等を展示、当館スタッフが解説・演奏、また自動演奏ピアノを実演した。
- 「オルゴール展示室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。
- 「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器(約100点)を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示法も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。



古典ピアノ室

3 企画展示の開催

①「竹久夢二と大正浪漫の世界—セノオ楽譜装画が語る—」

開催期間/平成19年1月1日—4月15日

入館者数/25,563人



大正の歌麿と呼ばれた竹久夢二が曲の内容を表現して描いた「セノオ楽譜」の表紙絵は、明るくハイカラな大正ロマンに光彩を放った。夢二装画のセノオ楽譜を中心に関連の音楽資料も展示。名曲たちが夢二のところに照らされて生き活きと蘇った。

〔協力：竹久夢二美術館〕

夢二の心あたたまる装画を見て楽しむ鑑賞者

②「華麗なる宝塚歌劇の世界—『モン・パリ』初演 80 周年記念—」

開催期間／平成 19 年 4 月 23 日—7 月 22 日

入館者数／29,682 人

日本における本格的レビュー「モン・パリ」が宝塚歌劇団によって創作初演されてから 80 周年を記念して開催した。大衆に夢を与え、一世を風靡した名作「ベルサイユのばら」の実物衣裳も展示し、反響を呼んだ。さらに、没後 50 年を迎えた「宝塚歌劇」創業者・小林一三の事跡と、宝塚歌劇の歴史を写真パネル等で辿りつつ、華麗なる舞台芸術「TAKARAZUKA」の魅力ある独特の世界に迫った。

〔協力：阪急電鉄（株）、宝塚歌劇団、（株）宝塚クリエイティブアーツ、（株）宝塚舞台、（財）阪急学園池田文庫 監修：藤田敏雄〕



本展のために特別展示された「ベルサイユのばら」の衣裳



創業者・小林一三氏の事跡を年譜パネルで紹介すると共に、入口に宝塚音楽学校の校門を設営して、往時を偲んだ。

③「夏休み子どものための楽器展」

開催期間／平成 19 年 7 月 27 日—9 月 9 日

入館者数／11,381 人

世界各地の興味深い民族楽器を“気鳴”“膜鳴”“弦鳴”“体鳴”の 4 つの性格に分け、実際に見て・触って・音を出して楽しめる楽器展示を開催。多くの子ども達に各国のユニークな楽器を一つひとつ手に取って楽しむ機会を提供した。



リズムよく自由にドラムを叩く子どもたち

④「日本音楽教育の曙—伊澤修二とその業績」

開催期間／平成19年9月15日—12月24日

入館者数／30,765人

日本の音楽教育の基礎を築いた伊澤修二。小学唱歌の選定など、様々な彼の音楽的業績を文献・資料を通して紹介した。当時音楽教育に使用されたオルガンも特別に展示し、西洋音楽の導入と相まって振興する当時の日本の音楽教育の様相を浮き彫りにした。

〔協力：東京芸術大学附属図書館、
日本リードオルガン協会会長 赤井励、
ブリッジウォーター大学古文書館〕



伊澤修二の業績を様々な資料を通して紹介

4 文化講演会の開催

◇「宝塚、花の道より」

「華麗なる宝塚歌劇の世界—『モン・パリ』初演80周年記念—」の企画展示開催に伴い、宝塚音楽学校校長・小林公平氏、元星組トップスターで現在、女優の湖月わたるさん、演出家・藤田敏雄氏を招き、宝塚の懐かしい思い出話等を織り交ぜて、名女優育成の観点、舞台秘話や将来の宝塚歌劇についてトークショー形式で開催した。

講師／小林公平（宝塚音楽学校校長）、湖月わたる（女優）、藤田敏雄（演出家）

開催／平成19年6月25日（月）民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数155名



応募の宝塚ファンが駆けつけ、トークショーに熱心に聞き入る

5 教育支援事業の推進

①「子どものための手作り楽器音楽体験学習 & 音楽会」(2日間 計3回)

◆講師／池田邦太郎、斎藤明子

開催／平成19年8月4日(土)、5日(日)

民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数 203名



親子で協力しあって“マリンカン”を作っている光景

②「総合学習」

高等学校1校、中学校13校、小学校1校、計15校106名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

③「学芸員研修生受入れ」

東京女子大学他、計8大学の在学生39名から学芸員資格取得のための研修希望があり実施した。

6 関係諸機関との相互協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター、東京都博物館協議会等との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助を行った。

7 博物館来館者

平成19年 総計97,389名、平成9年9月開館当初からの累計来館者数は1,214,889人

①「団体及びサークル」

各種団体・サークル計431名の見学希望があり実施した。

②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育関係者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等計 1,698 名の
見学希望があり実施した。

③「一般来館者」

一般来館者、計 95,115 名が来館見学した。

8 音楽ライブラリー事業活動

①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・視聴

平成 19 年は開館日数 150 日間、10,821 名の音楽ライ
ブラリー利用者（来館者）に資料の閲覧、貸出、視聴
を実施。

②レファレンス（質問、調査依頼への回答対応）

年間 2500 件以上の電話やメール（文書）による調査
依頼に応じた。

（昭和 49 年 11 月開館以来の利用者累計は 371,679 名
平成 19 年 12 月末現在の個人登録者数 47,702 名、団
体登録数 5,090 団体、Web OPAC へのアクセス数
293,037 件）



音楽ライブラリーの利用風景

9 出版活動

①「民音音楽博物館だより」（平成 19 年春・夏・秋・冬 各号 計 4 回）

②「館報」（平成 20 年 3 月 第 4 号）

③企画展・展示案内：「竹久夢二と大正浪漫の世界展」

「華麗なる宝塚歌劇の世界—『モン・パリ』初演 80 周年記念—」

「夏休み子どものための楽器展」

「日本音楽教育の曙—伊澤修二とその業績」

④企画展・展示目録：「日本音楽教育の曙—伊澤修二とその業績」

今後の事業予定

■ 音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用。

1 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール展示室、楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

2 企画展示の開催

①「弦鳴楽器の世界～民音音楽博物館所蔵資料より～」

開催期間 平成20年1月1日(元日)～6月29日(日)

今回は所蔵する楽器の中から、とくに主旋律を奏でる“弦鳴楽器”にスポットを当て約60点の展示を行います。楽器に触って音を出せる体験コーナーも設置。世界の国々の民族が固有の風土から作り、奏でてきたユニークな伝統楽器を通し、それぞれ独自の音楽文化を感じ取れるように展示。一つひとつの弦鳴楽器から豊かな音楽詩情が展開します。



②「夏休みこどもの楽器展」

開催期間 平成20年7月5日(土)～8月31日(日)

夏休み恒例の親子で楽しめる企画展。実際に見て、触って、音を出して演奏できる世界の民族楽器を公開！ 子供達の音楽世界への関心と興味が大きく広がる企画展示を行います。

③「民音創立45周年記念展」

開催期間 平成20年9月6日(土)～12月23日(祝)

民音創立45周年を記念して、民音の音楽活動が音楽界に与えた影響と実績を貴重な資料を通して紹介検証する企画展示を行う予定です。

3 文化講演会の開催予定

◇ “弦鳴楽器の世界展” 特別レクチャー・コンサート

「絃(いと)の音色で訪ねるシルクロード」(I)、(II)

開催日/平成20年3月19日(水) 18:30

平成20年6月8日(日) 14:00

民音音楽博物館・ミュージアムホール

講師/若林忠宏(わかばやしただひろ) <民族音楽研究家&演奏家>

4 音楽ライブラリー事業の推進

音楽図書、楽譜、視聴覚資料の収集、保存、整理と活用。

5 教育支援活動の推進

「子どものための音楽体験学習」等の開催。

6 出版活動

- ① 「民音音楽博物館だより」平成20年春・夏・秋・冬号の発行。
- ② 企画展・展示案内の発行。
- ③ 「民音音楽博物館・館報」第5号の発行。
- ④ 改訂版「展示カタログ」の発行。
- ⑤ 改訂版「民音音楽博物館パンフレット」の発行。

所蔵資料

■ 所蔵資料概数 (平成19年12月末現在)

- ① 古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール等 66点
- ② 民族楽器 620点
- ③ 視聴覚資料 12万点
- ④ 楽譜 4万5千点
- ⑤ 図書 3万3千冊
- ⑥ 自動演奏ピアノ用ロール / 1,133巻
- ⑦ オーケストリオン用ロール / 114巻
- ⑧ ミュージックボックス用ディスク / 212枚
- ⑨ 美術品、写真等の音楽関連資料 11万点

民音音楽博物館館報 第4号

発行日：平成20年3月16日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail m-lib@min-on.or.jp

